

宇都宮市戸祭地区 空き家及び空き地利活用事業(仮)(栃木県宇都宮市 一般社団法人ひるね)

対象地域	対象地域の特性	地域が抱えている課題	主な取組内容
栃木県 宇都宮市 戸祭エリア	築60年以上の旧家屋から新築まで立ち並ぶ、宇都宮の中では比較的地価の高い住宅エリアであると共に、多数の教育施設がある文教エリア。高齢化が進み、空き家や空き地が年々増えて来ていると同時に、住みやすさと子育てのし易さが人気で新たにこのエリアに転入してくる子育て世代も多い。	自動車が入れない路地に面した空き地・空き家が多く、再建築やリノベーションも難しい状況があり、利活用の見通しが立たず、放置されている実情がある。課題改善を検討する対象地は以下の通り。 対象地①：所有者が所在不明で2棟の未登記の空き家がある。 対象地②：相続人の所在が不明。未施錠で、防犯・安全面の問題あり。 対象地③：所有者を確認しているが、接触できていない。	●連絡がとれない空き地・空き家の所有者を探索し、地域の役に立つ「皆が利用できる新しい居場所」への再利用を提案、出来るだけ安く借りて、改装し運用する。 ●対象地①：自治会の夏祭り会場（現駐車場）に隣接しており、公民館としての利活用を検討する。 ●対象地②：近くに病院や高校もあり、比較的交通量が多い通りに面していることから、飲食系の店舗を構えたい利用希望者を募り、出来るだけ安く借りて改装して店舗として再活用することを想定。 ●対象地③：地域の方なら誰でも利用できる広場、防災拠点としても活用できる広場として検討。 ●地域住民に対して定期的に空き家・空き地の利活用セミナーを実施予定。

事業内容・スキーム

- 少子高齢化に伴い、人口が減少していく中で、増え続ける空き家及び空き地を地域にとって「有効な場所」へと利活用することで、地域活性化を図る。
- 地域の資源（空き家や空き地）を地域の方々が自ら当事者意識を持って利活用することで、地域の誰もが住みやすく、安心して暮らせるエリアを目指す。
- 取り組みに積極的に若年層を参加させることで、地域の魅力を再発見してもらい、地元からの人口流出を防ぎ、長期に亘り且つ幅広い年代が心地よく幸せに暮らせる地域を目指す。



モデル事業による取組成果

物件の売却	空き地・空き家情報に関する専用サイトの構築	行政との関係構築	戸祭地域 生活応援団勉強会の実施
対象物件（1件）に関し、所有者調査等を進め、売却へとつなげた。	地域や所有者の理解を得ていくための情報発信、マッチングにつなげるHPを構築	宇都宮市の生活安全課（空き家・空き地対策グループ）への定期的な情報収集等を通じ、関係性を構築	勉強会を通じ、地域（まちづくり協議会、地区社会福祉協議会、地域包括支援センターの、各自治会等）の役職者とのつながりを構築